腎・尿路系Ⅱ　２００８年度　追再試験

１、腎腫瘍の石灰化の評価ができないものは？

①超音波検査

②腹部単純写真

③経静脈性腎盂造影

④CT

⑤MRI

２、IgA腎症でみられる糸球体所見は？

①メサンギウム増殖

②nodular lesion

③基底膜肥厚

④細動脈の硬化

⑤分葉化

３、膜性腎症のPAM染色でみられる所見は？

①hump

②spike

③spherical deposit

④富核

⑤hyalinization

４、早期糖尿病性腎症で正しいのは？

①浮腫

②白血球尿

③尿蛋白が陰性

④腎血管性高血圧の原因となる

⑤腎機能低下がみられる

５、腎性尿崩症でみとめる所見は？

①冷水を好む

②希釈尿

③低Na血症

④血漿浸透圧の低下

⑤乏尿と口渇

６、Na代謝について正しいのは？２つ

①高Na血症では細胞内液量が増加する

②Na負荷で細胞外液量は増加する

③近位尿細管で濾過されたNaの30％は再吸収される

④アルドステロンは近位尿細管でのNa再吸収を促進する

⑤SIADHでは尿中Na排泄量は増加する

７、輸液治療について正しいのは？２つ

①高張性脱水では高張液を輸液する

②低張性脱水では低張液を輸液する

③高張液を輸液すると、細胞外から細胞内へ水が移動する

④等張液を輸液すると、細胞外液量だけ増加する

⑤低張液を輸液すると、細胞内に水が移動する

８、低カリウム血症をきたすのは？

①腎不全

②尿細管性アシドーシス

③横紋筋融解症

④溶血性貧血

⑤副腎皮質機能低下症

９、酸塩基平衡の異常について正しいのは？

①代謝性アルカローシスでは、代償性にPCO2が低下する

②習慣性嘔吐は代謝性アルカローシスをきたす

③高度の脱水では代謝性アシドーシスをきたす

④酸血症では細胞外から細胞内にH+が移動する

⑤アルカリ血症では細胞外から細胞内にK+が移動する

１０、保存期（非透析期）腎不全について正しいのは？

①合併する高血圧にはCa拮抗薬が第一選択薬となる

②心血管疾患のリスクがある

③６０代女性で血清クレアチニン値１．２は正常である

④高蛋白食がよい

⑤代謝性アルカローシスをきたす

１１、慢性腎不全について正しいのは？

①エリスロポエチン値は上昇する

②小球性低色素性貧血をきたす

③低リン血症が原因で二次性副甲状腺機能亢進症をきたす

④ビタミンKの活性化障害 がおきる

⑤透析アミロイドーシスで認められるタンパク質はβ2ミクログロブリンである

１２、顕微鏡性多発血管炎でみられる糸球体所見は？

①IgA沈着を伴うメサンギウム増殖性糸球体腎炎

②糸球体内皮細胞の腫大、血管内腔狭小化、血管内血栓、糸球体基底膜の二重化

③IgGの線上沈着を伴う半月体形成糸球体腎炎

④巨細胞を伴う半月体形成糸球体腎炎

⑤フィブリノイド壊死を伴う半月体形成糸球体腎炎

１３、ウェゲナー肉芽腫性血管炎でみられるのは？

①抗GBM抗体

②抗DNA抗体

③抗SSA抗体

④抗リン脂質抗体

⑤C-ANCA/PR3-ANCA

１４、溶血性尿毒症症候群でみられるのは？

①PTT延長

②低補体血症

③クリオブロブリン

④破砕赤血球

⑤MPO-ANCA

１５、３７歳男性。３カ月前の健診では異常なし。５日前に１０ｋｍマラソンに参加。昨日からの倦怠感で受診。血圧140/90mmHg、尿：蛋白（＋）、潜血（２＋）　血算：Hb11.0g/dl、アルブミン3.3g/dl、

クレアチニン3.6mg/dl　　鑑別診断で必要な検査は？

①CT

②眼底検査

③胸部XP

④心臓超音波検査

⑤腹部超音波検査

１６、生体腎移植について正しいのは？

①５年生着率は４５％

②全腎移植の８０％

③年間２５０００例行われている

④兄弟間ではできるが、夫婦間は認められない

⑤血液型の一致が必須条件

１７、尿路外傷と受傷機転の組み合わせで誤っているものは？

①腎損傷―側腹部の打撲

②尿管―尿管鏡検査

③膀胱―膀胱充満時の下腹部打撲

④膜様部―会陰部打撲

⑤振子部―勃起時陰茎打撲

１８、前立腺肥大症について正しいのは？

①閉塞性尿路障害があっても残尿を伴わない

②手術として経尿道切除術が行われる

③６０％に腹圧性尿失禁が認められる

④閉塞性尿路障害がなくても手術療法は必須である

⑤腺腫を有する場合、９０％以上が排尿障害を伴う

１９、前立腺癌の確定診断となる検査は？

①CT

②MRI

③骨シンチグラフィ

④前立腺生検

⑤PET

２０、精巣腫瘍に関して正しいのは？

①有用な腫瘍マーカーはない

②７０歳以上に好発

③下腹部痛が主訴

④セミノーマは精巣腫瘍で最も頻度が高い組織型である

⑤セミノーマは非セミノーマよりも予後不良

２１、観察用尿管鏡の太さは？

①３F

②８F

③１６F

④２０F

⑤２４F

２２、尿路変向術の合併症で誤りなのは？

①腸閉塞

②尿管結石

③悪性腫瘍

④尿路感染症

⑤腎盂尿管移行部狭窄

２３、PSA（前立腺特異的マーカー）について正しいのは？

①女性血清中に微量のPSAが存在

②男性精液中に高濃度に存在

③前立腺間質部の平滑筋細胞から産生される

④男性血清中に高濃度認められると前立腺癌と診断できる

⑤血清PSA値は高齢者男性の方が若年者男性よりも少ない